

令和3年度 学校評価実施報告書

幼稚園名（楊梅幼稚園）

教育目標	
健康で、心豊かに、自分で考え、夢中になり、没頭して遊ぶ子どもの育成	
年度末の最終評価	
自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	10月19日	学校運営協議会
最終評価		

（1）幼稚園教育（保育の改善・充実）について

具体的な取組	
・子ども一人一人の命が尊いものであり、守りきる認識の下、健康に過ごし、安心した居場所の幼稚園となる。	・子ども一人一人がかけがいのない存在であるという認識の下、多様な能力や個性を生かし、誰一人取り残さない保育を推進する。

（取組結果を検証する）各種指標

○保護者アンケートの評価項目

- ・「子どもは幼稚園の遊びを楽しんでいますか」
- ・「子どもはいろいろなもの、こと、人の関わりやふれあいを楽しんでいますか」
- ・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」
- ・「子どもは自分のことは自分でしようとしていますか」
- ・「教職員は話しやすく、相談しやすいですか」

中間評価

	<p>各種指標結果</p> <p>○アンケート項目について、保護者も教職員も高く評価をしている。</p> <ul style="list-style-type: none">・設問「子どもは幼稚園の遊びを楽しんでいますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」100%・設問「子どもはいろいろなもの、こと、人の関わりやふれあいを楽しんでいますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」100%・「子どもは友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」99%・「子どもは自分のことは自分でしようとしていますか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」91%・「教職員は話しやすく、相談しやすいですか」回答「あてはまる・概ねあてはまる」100%
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>保護者アンケートから、概ね教育目標が達成できていると考えられる。保護者アンケートで低い評価をした方（否定的な回答をした方）とは、個別に話をしている。新型コロナウィルス感染拡大防止に伴う臨時休業中の預かり保育やその後の保育や行事の変化などについての不安によるものである。</p> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>今後も、一人一人に丁寧に保護者に発信し、関わっていくとともに子どもたちにとって必要な経験を工夫しながら進めていく。</p> <p>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</p> <p>○保護者アンケートを実施する。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>小学校や幼稚園が楽しいということが、何よりも大切である。小学校や幼稚園から不登校や登園しにくい等の姿があるときには、大事にかかわっていってほしい。また、子どもが、家庭の中で、親にありのままの自分を表現できにくい現状を見ることがある。家庭の中でありのままの思いを出すことができるよう家庭と連携していってほしい。</p>

最終評価

	<p>（中間評価時に設定した）各種指標結果</p>
自己評価	<p>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</p>
学校関係者評価	<p>分析を踏まえた取組の改善</p>

（2）幼小連携・接続に関して

具体的な取組

- ・社会に開かれた教育課程を実践する。
- ・下京雅小学校との合同研究組織の一員となり、9年間を見通した子どもに育みたい資質能力を捉え、子どもが夢中になり、没頭する保育の展開及び公開保育や合同研修を実施する。
- ・小・中学校、就園前教育施設との連携のモデル園として発信する。

(取組結果を検証する) 各種指標

保護者アンケートの評価項目

- ・「子どもはいろいろなもの、こと、人の関わりやふれあいを楽しんでいますか」

中間評価

各種指標結果

- 保護者アンケート結果は高評価である。

自己評価

分析（成果と課題）

小学校との合同研究組織での研究も2年目となり、教員同士の関係ができてきただことで、互いの教育についての理解が深まったり、広がったりしている。「心が動く保育・授業」という同じ視点で事例検討や研究保育、研究授業を重ね、事前研修なども合同で行うことで、幼児理解や保育の改善につながっている。

分析を踏まえた取組の改善

研究発表会での小学校や就学前施設への発信をするとともに、さらに研究を深め、幼稚園と小学校の連携、接続を深める

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

- 公開保育や研究発表会の実施

- 公開保育や研究発表会、交流保育の実施に向けた話し合いの実施

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

行事などを通して、小学校と幼稚園の子ども同士のかかわりが様々に見られて嬉しく思う。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

自己評価

分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題

分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

(3) 預かり保育について

具体的な取組

安心し、楽しめる遊びや季節に応じた遊びの展開。

(取組結果を検証する) 各種指標

保護者アンケート評価項目

「保護者は安心して子どもを預かり保育に参加させていますか」

中間評価

各種指標結果

○設問 「安心して自分の子どもを預かり保育に参加させていいますか」

回答 「あてはまる・概ねあてはまる」 96%

自己評価

分析（成果と課題）

保育時間とは違う遊具で、ゆったりと異年齢の友達と遊ぶことができている。

分析を踏まえた取組の改善

引き続き、子どもたちが楽しんですごすことができるよう、ゆったりとした雰囲気を大事に取り組む

（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標

預かり保育参加者数や参加の感想などから検証する。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

引き続き、安心して子どもたちが参加できるようにお願いしたい。

最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果

自己評価

分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題

分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

(4) 子育ての支援について

具体的な取組

- PTA や地域と連携し、未就園児教育相談ポスター掲示、ホームページでの発信。

- ・保護者や未就園児の様子を温かく見守り、声をかけて相談に応じたり、保護者同士をつなげたりし安心感につなげる。

(取組結果を検証する) 各種指標

○未就園児教育相談のポスターや楊梅だよりを地域の方々に掲示をお願いしたり、児童館や未就園児教育相談などで配布したりする。

○教育相談や入園の問い合わせの際、どのような情報により問い合わせにつながったかを確認する。

中間評価

各種指標結果

教育相談のポスターを地域や児童館や子育てサロンに掲示することができた。楊梅幼稚園の紹介動画や教育相談について、わかりやすく紹介したカードを作成し、地域や児童館、小規模保育ルームなどで配布することができた。教育相談や入園の問い合わせの際には、園長が丁寧に対応し、一人一人にどのようなニーズがあるのか、どのような情報が問い合わせにつながったかを確認した。さらに、近隣の小規模保育ルームと連携して本園の教育について説明する機会をもつことができた。

自己評価	分析 (成果と課題)
	ホームページやポスター、口コミなどで開設を知り、登録者数が少しづつ増えている。
	分析を踏まえた取組の改善
	引き続き丁寧に対応し、本園の教育や未就園児の教育相談について広く周知できるようにしていく (最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
	○未就園児教育相談での一人一人のかかわりを大事にしながら、 ○引き続き教育相談や入園の問い合わせの際、どのような情報により問い合わせにつながったかを確認したり、本園の教育や預かり保育、3年保育などについて丁寧に伝えたりする。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 地域としても協力できることはしていく。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

自己評価	分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

(5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）について

具体的な取組

- ・園行事や楊梅だより、ホームページでの教育内容の発信。
- ・地域の伝統文化（扇子の絵付け体験）に触れる機会や図書ボランティアの保育参画。

(取組結果を検証する) 各種指標

○保護者アンケートの評価項目

- ・「子どもはいろいろなものやこと、人と関わることを楽しんでいますか」

中間評価

各種指標結果

保護者アンケート結果は高評価である。

自己評価

分析（成果と課題）

地域の伝統扇子の絵付け体験（5歳児）を実施し、子どもたちも楽しみ、保護者も喜んでいる。園行事や楊梅だよりを地域や小学校へ配布し、幼稚園の様子を発信することができた。

分析を踏まえた取組の改善

さらに、地域の資源を活用しながら、保育を充実させていく。

(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標

○保護者アンケートを実施する。

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

引き続き、地域としても協力していきたい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

自己評価

分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題

分析を踏まえた取組の改善

学校関係者評価

学校関係者による意見・支援策

(5) 教職員の働き方改革について

重点目標

見通しをもって勤務時間内に効率的に仕事に取り組み、優先順位をつけながら業務をこなす。

具体的な取組

- ・校務支援員と連携し、業務の効率化を図るとともに保育の充実につなげる。
- ・ノー残業デーを守る。
- ・長期休業中の年休取得日を増やす。

(取組結果を検証する) 各種指標

- 長時間勤務の時間数を減らす。
- 年休取得日数を増やす。

中間評価

各種指標結果

教職員は意識して、勤務時間を守って退勤しようとしている

年休取得について、それぞれが意識して、取得しようとしている

自己評価	分析 (成果と課題)
	職員朝礼を廃止し、週に一回の昼礼をおこなっている。そのため、出勤後の子どもが登園するまでに保育の準備のまとまった時間をとることができ、見通しをもって業務をすることにつながっている。校務支援員との連絡を密にすることで、自らの業務に見通しをもつことにつながっている。
	分析を踏まえた取組の改善
	見通しをもって業務にあたり、さらに校務支援員と連携し、活用を進める
	(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標
	○長時間勤務の時間数を減らす。
	○年休取得日数を増やす。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 協力できることをやっていきたい。

最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果

自己評価	分析 (成果と課題), 重点目標の達成状況, 次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策